

第2 東公園動物園管理運営事業

1 動物園管理運営業務

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントを中止した。入園者数は、前年度比で129%程度まで増加し、コロナ禍前と同程度に回復した。

行動制限により遠方からの来園が困難な人にも動物園を楽しんでもらえるようにSNSによる情報発信に力を入れ、4月にはInstagramを開設し、11月からYouTubeの配信を開始した。感染症対策が難しいイベントも動画配信に変更して積極的に配信した。

ヤギの赤ちゃんが生まれたり、他の動物園からヒトコブラクダ、リスザル、ニホンジカを受け入れたり新たな動物が仲間入りした。ヒトコブラクダは10年ぶりに東公園動物園で展示することとなった。

また、東公園動物園としては初めてオリジナルグッズの販売を行った。ふじ子のイラストのタオルハンカチを100枚限定販売したが即完売となり好評であった。

(1) 飼育動物点数（令和4年3月31日現在）※魚類含まず。

31種183点（哺乳類：16種138点 鳥類：12種41点 爬虫類：3種4点）

(2) 入園者数など（単位：人）

動物園の入園者数	264,660
うち遠足利用	2,647

(3) スポットガイド、お食事タイム

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(4) ふれあい事業（単位：人）

モルモット		ヒツジ ヤギ	リクガメ	ウサギ	ウマ			参加人数
一般	団体				乗馬	ふれあい	散歩	合計
840	—	—	—	—	9	—	—	849
840					9			

(5) 餌やり体験（単位：皿）

ゾウ	シカ	水鳥	サル	ラマ	合計
4,466	16,355	—	3,053	—	23,829

※5月12日から7月4日、8月21日から9月30日及び1月21日から3月24日まで（水鳥とラマは年間を通して）新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(6) 職場体験の受け入れ

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(7) 出前講座

モルモットのふれあい	11月19日 竜海中学校	37人
	12月10日 新香山中学校	40人
合 計		77人

(8) ワークショップ

クジャクの羽根で作ろう	6月12日	中止
エッグアート	11月7日	中止
モルモットの置物作り	12月5日	4組9人
ゾウさんのうんちで紙作り	3月13日	中止
モルモットの魅力を伝えよう	3月20日	中止

(9) イベント

どうぶつ絵本の読み聞かせ	4月、5月、9月、10月、11月、 3月 第2水曜日	中止
ゾウのふじ子のお誕生日会	4月10日	動画配信
飼育員に挑戦	4月16～19日	動画配信
動物園写真会	5月1日～5月5日	106人
みんなの動物園	5月1日～5月5日	500人
ヒツジの毛刈り	5月9日	動画配信
くらべてみよう	6月20日、8月1日、1月23日	中止
インコ・オウムを知ろう	7月17日	中止
写生会作品展	7月17日～25日	
どうぶつえんうらがわ探検	8月1日、8日、15日	動画配信
親子で飼育体験	8月9日	中止
出張水族館 (碧南海浜水族館が来園)	8月22日	中止
出張水族館 (竹島水族館が来園)	8月28日、29日	中止
どうぶつとなかよくなろう 「カピバラ編」	9月5日	中止
どうぶつとなかよくなろう 「リスザル編」	9月18日	中止
どうぶつえんクイズラリー	9月25日、26日	中止
あにまねウォッチ	10月23日、24日	中止
出張動物園 (碧南海浜水族館へ行く)	10月24日	中止
出張動物園 (竹島水族館へ行く)	10月	中止
どうぶつとなかよくなろう 「ニホンザル編」	11月14日	中止
動物園人気投票	12月4日～19日	1,333人 (SNS投票含む)
ウンが付くしおり配布	12月8日	104人
ハッピークリスマスプレゼント	12月11日、12日	100人
新年を祝う会	1月4日	動画配信
フォトコンテスト作品展	1月4日～30日	64点
外来種問題について学ぼう～初級編～	2月27日	中止
なかよし教室 (動物1係と協働開催)	4月～1月 (全56回)	市内公立 こども園・保育園37園 中止

2 動物園動物診療業務

動物園動物の健康管理・疾病治療を家畜診療業務も含め4人の獣医師で行っている。

診療業務には多くの知識と経験が必要であるため、他の園館の獣医師と症例に関する情報交換を行い、場合によっては直接指導者を招き、治療を行っている。センター内の整備された設備・機器等を活用し、迅速な治療方針の検討を実施している。また、ふれあい動物に対しては定期的な糞便検査や年間を通した駆虫プログラム等により、動物由来感染症に一層注意を払っている。その他、各種疾病予防ワクチンの接種や死亡動物の検案も行っている。

検査・予防・治療・検案

		対象疾病及び手段	対象動物	結果
糞便 検査	寄生虫（虫卵検査）	線虫・吸虫・鞭虫	導入動物、ふれ	陰性
	細菌検査	サルモネラ・0-157・カンピロバクター	あい動物、エサ やり動物	陰性
予防	予防接種	馬インフルエンザ・日本脳炎・破傷風	馬	延べ18頭
	駆虫	3か月毎イベルメクチン製剤投与（馬は イベルメクチン・プラジクアンテル合剤 と交互に使用）	馬	年2回
モルモット・ヤ ギ・ヒツジ			春～秋 月1回	
治療			罹患動物	延べ1447回
検案		肉眼所見（一部細菌検査）	死亡動物全個体	21件